

## スタチ新品種「勝浦1号」の品種登録出願の公表について ～緑色が濃く、貯蔵性に優れた新品種～

農林水産総合技術支援センターは、スタチを長期貯蔵したとき、果皮が黄色くなる品質低下を防ぎ、品質の高いスタチの周年供給体制を強化するため、果皮の緑色が濃く、貯蔵性に優れた新品種「勝浦1号」を開発しました。

令和3年7月8日に農林水産省へ品種登録出願を行い、11月29日に出願が公表されましたので、お知らせします。

今後、出願公表を踏まえ、品種登録に向けた審査を受けるとともに、苗木の生産・販売などに関する利用権を許諾し、関係機関との連携により普及を推進し、ブランド強化を図ってまいります。

### 1 開発の経緯

平成20年度

貯蔵試験において、黄変していない果実を発見（写真1）し、その種子を播種（袋に穴が開いて黄変した果実群の中から発見）

平成26～28年度

センター内で果実調査を実施し、当品種を選抜

平成29年度～

現地適応性試験により、栽培及び果実の特性を確認

令和3年7月8日

農林水産省へ「品種登録出願」

令和3年11月29日

農林水産省から「品種登録出願公表」

### 2 主な特性と導入効果（従来のスタチとの比較）

- ・果皮の緑色が濃く、退色が遅く、収穫適期が長い晩生品種（写真2）
- ・果実の大きさ、果肉色、風味は従来のスタチと同等
- ・貯蔵中も果皮の緑色が保持され、貯蔵性・店持ちが良いため、貯蔵スタチが品薄となる2月～3月上旬の安定供給が可能となり、周年供給体制が強化され、更なる需要拡大と生産者の所得向上が期待できる。（写真3）

### 3 今後の予定

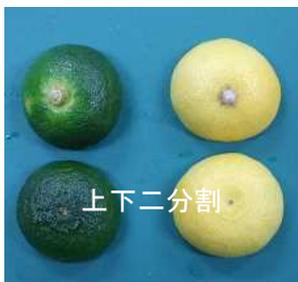
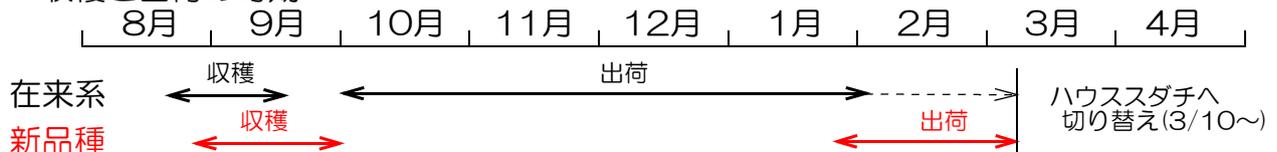
令和3年度内 品種に関する利用権を許諾、苗木の生産開始

令和5年頃 品種登録（予定）

令和6年春 苗木の供給開始

### <参考>

収穫と出荷の時期



上下二分割

写真1

発見時の果実  
(貯蔵3か月 H20.12.2)  
左：新品種，右：在来系



写真2

収穫時の退色度合いの比較  
(R2.9.16)  
左：新品種，右：在来系



写真3

3月の新品種果実